

LEAFプログラムについて

森林環境教育LEAFプログラムは北欧で生まれた自然体験学習プログラムです。身近な自然を手にとってじっくり観察したり、五感をフルに使って体感したりすることを通じて、子どもたちが自ら考え、主体的に関わることを大切にしています。皆さんの近くの公園にもたくさんの種類の木や草があり自然を楽しむことができます。子どもだけでなく大人でもたくさんの発見ができるプログラムです。ぜひチャレンジしてみましょう。

はじめに

子どもの健全な発育には外遊びが必要です。

子どもは遊びを通して、身体だけでなく感性や社会性・創造性などを養っていきます。2020年春から新型コロナウイルスの感染拡大により多くの学校が休校となり、緊急事態宣言が解除され学校が再開された現在でも、子ども達にはさまざまな行動制限がつけられています。コロナ禍でも「人との距離が離れた屋外での活動」は、行ってもよいとされています。子ども達の成長のためにも「三密」を避け、楽しい自然遊びを生活に取り入れましょう。

三密のリスクを避けましょう！

密閉—屋外は解放空間ですが、遊具やベンチなど不特定多数の人が触ったものは注意しましょう。

密集—基本同居している家族で実施しましょう。大勢が集まる時間帯は避けるようにしましょう。

密接—2家族以上の時は距離をあげ、マスクを着用するなど配慮して行いましょう。

プログラムを行う時のヒント

一緒にプログラムを行う大人は以下の点を意識してみてください。

- 子どもが気づいたどんな小さなことも「すごいね」とほめてあげましょう。
- 子どもが質問するときはチャンスです。
「なぜかな?」「何かな?」「どうしてかな?」と子どもに質問して、子どもにも考えてもらい、一緒に調べるようにしましょう。
- 自然の中での答えは一つではありません。大人にとって突拍子もない答えだったとしても「なぜそう思ったか」を聞き出していきましょう。
- 花を摘んだり、虫を取ったりするのは自然な行動です。
そうした体験は自然好きな子どもを育てます。
しかし、公園での動植物の採取はその公園のルールに従ってください。
一般的に落ちているものの採取は可能です。



服装について

暑くなると軽装になりますが、肌の露出はなるべく少なくしましょう。

帽子も忘れずにかぶってください。

こまめな休息や水分補給など熱中症対策を行ってください。

特にマスク着用時は「暑さ」に気を付けてください。

森に入る時は首にタオルをまいておくと、虫が入るのを防げますし、汗をかいたら使えます。

ハチやアブは黒い色を攻撃するので、黒い服はできるだけさけるようにしましょう。

また香りの強いものにも虫が集まりやすいので、香水など香りの強いものを身につけないようにしましょう。

準備するもの

- 虫よけや刺されたときの薬、ちょっとしたすり傷のためのばんそうこうなどを準備しましょう。
- 水分をこまめに補給できるように水筒などを持参しましょう。
- 葉っぱやどんぐり、拾った小枝などを入れることができる袋があると持ち帰るときに便利です。
- ごみは持ち帰れるようにゴミ袋をもっていきましょう。
持ち帰ったゴミは地域のルールに従って分別廃棄してください。